

様式【学校評価資料】

学校経営目標	具体的計画	令和3年度の達成基準	自己評価(中間)			自己評価(最終)			学校関係者評価
			達成状況	評価	改善策	達成状況	評価	改善策	自己評価の適切さ
1 心の教育の充実	【やさしい子】 ①道徳教育、人権教育、総社っ子応援プロジェクトの取組を充実することにより、児童同士の絆や思いやりの心を育て、長期欠席・不登校やいじめの未然防止に努める。 ②「すきだ総社小学校運動」すんで挨拶、きちんと整頓、だまって掃除を推進するとともに愛校心を育てる。 (総社を愛す子供)(心優しい子供)(礼儀正しい子供)	①思いやりの心をもって生活しているという回答が85ポイント以上である。 (児童・保護者・教職員) 【人間関係・特別支援教育】	児童:86.6p 保護者:87.6p 教職員:85.4p 82.7p	B	・コロナ禍で、ピア・サポート活動やSELの学習、PBIS活動等を十分に行うことができなかったため、まずはそのような活動を継続したり、行ったりする。				
			児童:83.6p 保護者:79.9p 教職員:78.7p	C	・「あいさつをする意識」よりも「あいさつをする意味」の方を考えた取組(写真や動画映像等)を行っていく。 ・登下校を見守ってくださっている地域ボランティアへアンケートを実施したので、集計した結果から新たな取組を考え、実行していく。				
2 健康・体力づくりの推進	【たくましい子】 ③健康教育、特別活動を充実することにより、児童に基本的な生活習慣を身に付けさせる。総社東中学校ブロックの学校園と連携し、ノーメディアの取組を推進する。 ④目標をもって主体的に体力づくりに取り組み、体力の向上を図るとともに最後まで粘り強く頑張る態度を育てる。	③感染症対策として手洗い・マスクの着用、換気を行っているという回答が90ポイント以上である。 (児童・保護者・教職員) 【保健安全】	児童:91.3p 保護者:86.7p 教職員:90.1p	B	・継続して感染症対策を行う。手洗いとマスクの着用、黙食、換気など新しい生活様式が身に付くように指導していく。 ・学期始まりなどの区切りとなる時期に、指導を繰り返すことで意識が継続しやすくなる。				
			児童:87.3p 保護者:76.7p 教職員:77.4p	B	・今後も、メディアとの付き合い方について、参観日の授業や学級懇談、個人懇談等で啓発に努めて、家庭と連携して取り組んでいる。 ・メディアとの付き合い方、睡眠の大切さについてメディアコントロール週間を中心に啓発に取り組む。				
			児童:84.5p 保護者:78.7p 教職員:77.1p	B	・コロナ禍であり、状況を見ながら、進んで運動する機会を増やすことができるよう声掛けや委員会活動等の取り組みをしていく。				
3 確かな学力の育成	【すんで学ぶ子】 ⑤児童が主体的・対話的で深い学びを実践し確かな学力が身に付けることができるように授業改善を行う。特に、考える活動や書く活動を重視する。 ⑥朝学習や総小チャレンジタイム、家庭学習の充実を図り、基礎学力の定着を目指す。	⑥自分の考えや振り返りを書いているという回答が90ポイント以上である。 (児童・教職員) 【学力向上】	児童:85p 教職員:80.7p	C	・授業の中で書く活動を積極的に取り入れ、時間を確保する。 ・学習の振り返りの視点を共通理解したので、継続して取り組む。				
			教職員:82.5p	A	・新学習指導要領の求める力について校内研修等で全教職員に理解を促したり研究授業を進めたりして、授業改善を目指す。 ・基礎的な内容理解が不十分な児童には個別支援を行うとともに、家庭との連携を進める。				
			児童:85.8p 保護者:75p 教職員:78.8p	B	・昨年度の取組を継続して行う。 ・宿題・自主学習で、目標時間が達成できるように指導する。 ・児童が目標時間を達成しやすいように、宿題の量などを学年に応じて調整する。				
4 地域とともにある学校づくり	⑦各種の便り、ホームページの更新、学校評価、学校公開等により、積極的に情報を発信する。 ⑧きらめきEASTの幼稚園、小・中学校や家庭・地域・関係機関等との連携を深め、児童の健やかな成長を図る。	⑨学校から積極的に情報発信が行われているという回答が85ポイント以上である。 (保護者・教職員)	保護者:81.8p 教職員:77.2p	C	・各種の便りやホームページの更新、学校評価、学校公開等により、積極的に情報を発信する。ホームページ担当を中心に、タイムリーなホームページの更新を行う。 ・保護者と普段からの電話や連絡帳、家庭訪問等による連絡をとり、連携を図る。				
			児童:90.1p 保護者:86.2p 教職員:87.3p	B	・学年下校を定着させ、学校支援ボランティアと協力して、登下校の安全確保に努める。 ・校内のきまりやルールを教職員で共通理解を図って指導し、きまりやルールを守って安全に生活できる児童を育成する。				